

泉大津市第2次環境基本計画の点検評価結果

基本目標	基本施策	現況	アンケートによる市民満足度
くらし	<ul style="list-style-type: none"> ・安心して快適に暮らせるまちづくり ・健やかに暮らせるまちづくり ・ごみの少ないまちづくり ・リユース・リサイクルの推進 	<p>大気汚染や水質汚濁の主要な指標では環境基準を達成し、計画策定時よりも環境濃度は改善している。市内一斉清掃などの環境美化の取り組みの結果、快適に暮らせるまちづくりが進んでいる。容器包装プラスチックの分別回収などを着実に進めてきたが、近年、一般廃棄物の排出量は横ばい状態にある。</p>	<p>ごみの少ないまちづくりの分別収集の徹底などの施策で特に満足度が高く、騒音の防止対策では満足度が低いものの、総じて満足度は高い。</p>
自然環境	<ul style="list-style-type: none"> ・みどりの保全と創出 ・土の保全とふれあいの創出 ・豊かな水辺のあるまちづくり ・水の循環利用の推進 	<p>フェニックスにおいて多目的緑地を整備した他、みどりの基本計画に基づき保全と創出に努めてきた。いずみの農業協同組合を支援して農地の保全活用を行っている。戎小学校の学校ビオトープや大津川水系の生物調査をとおして水辺での学習の取り組みを行っている。</p>	<p>臨海地域での水辺の創出については満足度が低いが、みどりの保全と創出の施策については満足の意見が多い</p>
地球環境	<ul style="list-style-type: none"> ・省エネ・省CO₂の推進 ・クリーンエネルギーの活用推進 ・泉大津市における率先的な取り組みの推進 	<p>市域の温室効果ガスの排出量は、2017年度で1990年度比21%削減となっており、2020年度に25%削減の目標値を達成できる見通し。高効率給湯器への助成を行うとともに、市庁舎等へ太陽光発電やLEDを導入し、2030年度までを計画期間とする第5期実行計画を策定して率先取り組みを進めている。</p>	<p>省エネ・省CO₂の推進については満足度が高いが、クリーンエネルギーの活用推進や率先的取り組みについてはやや低く、今後も力を入れるべきという意見が多い。</p>
豊かな ところ	<ul style="list-style-type: none"> ・人と人とがふれあうまちづくり ・歴史的環境の保全 ・環境教育・学習の支援、推進 ・環境情報の提供 	<p>クリーンエネルギーフェア等のイベントでふれあいや環境学習の機会を創出してきた。SNSアプリやFM放送も活用して情報発信を行っている。生ごみから作成した肥料を和歌山県日高川町の農家で使用し小学生が収穫する事業を実施中。</p>	<p>いずれの基本施策についても、総じて市民満足度は高い。</p>

⇒総括：おおむね計画どおりの取り組みが行われ、所要の結果が得られている。